

私のAction！！

“考える”から“実践”へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職 名 ( 主任事務主事 )

経験年数 ( 17年目 )

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



私は“子どもたちのために”

※複数回答可

- 業務改善
- 地域協働・教育課程
- 組織力向上
- 財務マネジメント
- その他（意識改革・環境整備等）：教材の整備

に関することをやってみる！

### “思いとビジョン”

挑戦したい取組・なぜそう思ったのか

生徒会と地域の大人や保護者、教職員が意見を交流する拡大学校運営協議会の企画運営。

・昨年度の学校評価の結果を受けて、自己肯定感や幸福度を高められるよう、生徒や地域、保護者、教職員がビジョンを共有する機会を作りたいと考えたから。

### “未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか

- ・生徒会の意見が学校運営に反映されることで、生徒に自分事として考えてもらうことができ、学校や地域に向けて発信する力を育てていきたいと考えた。
- ・生徒自身が主体的に考え、大人と対話する中で、社会で生きていく力を身につけてほしいと思う。



### そのためには…？どう“コーディネート”する？

誰とどのようになにをするのか “つなぐ” 役割として、どのように調整しまとめていくか など

- ①管理職や地域学校協働活動推進員と企画し、職員会議で全体に提案して意見を求める。
- ②生徒会担当に熟議のイメージや今後の進め方について意識をもってもらうため、参考動画を視聴してもらう。
- ③生徒会執行部と連携し、地域連携担当より趣旨説明を行い、今年度のテーマを設定する。
- ④当日の進め方を事前に学校運営協議会委員と共有し、テーマをもとに、ねらいに沿ってワークショップを行う。
- ⑤学校運営協議会で考察し、生徒会活動につなげられるよう今後の協議の方法を検討する。



### 目標達成に向けて、必要な力とは？ 人材育成指標を確認して必要な力をチェック

[【人材育成指標を確認！！】](#)

- 調整力
- 組織力
- その他（下線部に記入）
- 企画力
- 実務能力

コミュニケーション力、プレゼンテーション力、ファシリテート力



※複数回答可

参考例：滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標

## 【実践の振り返り】

### ★Action 取組結果

（行動したことにより、どのような効果があったのか 子どもの姿・組織力・教育力向上との結びつき）

取組を行った結果、子どもの姿や組織力等がどのように変化したか など

地域からは、「熟議で生徒と互いに話してみると、もっと学校を応援したくなった。定期的に熟議を行い、子どもたちの思いを汲んだ地域学校協働活動ができると良い。」というご意見をいただいた。また、保護者からは、「ふだんの子どもの間ではできない地域にかかわる話ができて良かった。ぜひ熟議を継続してほしい。」というご意見をいただき、家庭でのコミュニケーションにもつながっている。そして、職員からは、「地域にかかわりたい、ボランティアをしてみたいと考えている生徒の思いを聞くことができよかったです。地域学校協働活動推進員にも学年で考えている取組を相談してみたい。」という発想につながり、社会に開かれた教育課程の実現への一歩となっている。

4者熟議の発表では、生徒会より、「今後も地域の方と話す機会や時間をもってほしい。」と提案があった。また拡大学校運営協議会の翌日には、生徒会執行部が全校生徒向けに当日の様子を発信した。これらのことより、生徒が自発的に行動する姿が教職員や学校全体にも浸透してきたのではないかと考えている。